

# Neues in Nara

Nr.64

2018年6月27日



「いちろう小僧」

(なかじまゆたかさんの「和尚さんのふしぎなメガネ」より)

Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

## ●行事予定

### 1. ビア・アーベント

日時：7月28日(土)17時30分～19時30分

場所：大安寺境内(雨天決行)

参加費：3,000円(学生 1,500円)

家族・友人をお誘いいただき、多数のご参加をお待ちします(詳細は同封の案内チラシを参照願います)。

### 2. 第20回シュタムティッシュ

9月2日(日)開催予定。会員の藤澤一夫さんから「伸びる、ドイツの再生可能エネルギー」と題して話題提供頂きます(詳細後報)。

### 3. 天理大学留学生との座談会

日時：7月1日(日)15時より約90分の予定

場所：大安寺催事棟

天理大学留学生のチュチャ・ナシュワンさん(マルブルク大学, 柔道選手)のほか柔道の先生, 友人も参加頂き、座談会形式でくつろいだお話しをしたいと思います。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしています(詳細別途案内状参照)。

## ●行事報告

### 1. 奈良日独協会・平成30年度年次総会、及びなかじまゆたかさんの講演会

5月13日(日)13:30から大安寺で開催され、隅田憲孝理事を議長に選出。全ての議案が提案通り承認された(同封の議事録をご参照願います)。総会終了後3時から会員の童話絵本作家なかじまゆたかさんの講演が行われた。障害を克服して童話・絵本の創造に至る経緯とその源泉について意義深いお話を頂いた。(上記写真は同氏の絵本から)



障害を克服して童話・絵本の創造に至る経緯とその源泉について意義深いお話を頂いた。(上記写真は同氏の絵本から)

### 2. 第19回シュタムティッシュ

6月3日(日)15時より大安寺催事棟にて開催され会員の土井通靖さんから「NAMEとなまえ」と題して話題提供頂き、ドイツ, 日本, その他の国々の姓名について、「多く常用される姓」, 「動物に由来する姓」, 「苗字の無い国」など, 様々な角度からユーモア溢れる話題を展開され、久方ぶりに日頃の疲れを吹き飛ばし、ひたすら頭の体操に専心する有意義な時間でした。



### 3. 全国日独協会連合会総会・日独交流国際会議

5月20日～22日、金沢市で開催され、当会より林保之副会長が出席した。

## ●会員だより

### 横山 香さんから “Mein Lebenslauf (私の経歴)”

2016年4月に奈良大学着任にともない、昨年奈良日独協会に加入いたしました。実家は大阪ですが、奈良との縁は以前からあり、2001年から15年間、奈良女子大学でドイツ語を教えていました。いまは秋篠寺近くの静かな住宅地に住んでいます。

私の専攻はドイツ文学や語学ではなく、社会学でした。第二外国語でドイツ語を履修し、社会学の原書講読をしたことが縁で、卒業旅行は1か月間ドイツを一人旅しました。大学卒業後しばらくして、ドイツに2年間留学しました。最初の1年はゲーテ・インスティテュート、その後はフランクフルト大学(現在はゲーテ大学)の社会学部に在籍しました。帰国後は大阪大学大学院言語文化研究科に入学し、修了後はドイツ語の非常勤講師として働いてきました。

私の研究テーマはドイツの大衆文化で、とくに女性の小説や雑誌などを分析してきましたが、いまはその源流を求めて、19世紀の大衆文化に関心が向かっています。

奈良大学では第二外国語のドイツ語と初年次教育を担当しています。昨年度で教養部が解体され、今年度から文学部史学科に配属となりました。来年度には第二外国語が必修科目から外されることが予定されており、本学においても教養教育の行く末はあまり明るくありません。けれども学生たちがとても熱心に学び、ドイツに興味を持ってくれていることが何よりも励みになっています。学生を連れてドイツに行き、歴史・文化めぐりをすることが当面の目標です。



カッセルの世界遺産ヴィルヘルムスヘーエ城



ドレスデンにて



トレンデルブルク「ラプンツェルの塔」

## ●新入会員

田口嘉子さん(奈良市)が入会されました。